



おう 「はだかの王さま」



どんなおはなし？



“王さまははだかだ！なんにもきていない！”

「はだかの王さま」

アンデルセン童話



むかしむかしあるところに、あたらしくてうつくしい
ふくが、大すきな王さまがおりました。もっているおかねを
ぜんぶ ぶんにつかって、いつもきれいにきかざっていました。

ある日、二人のうそつきの男が王さまのところにやって
きました。

二人の男は、じぶんたちを“はたおりしょく人”だといひ、
“おろかもんには見えないぬの”をおることができる
といひました。王さまは、さっそくぬのを おるように
いひ、おかねをたくさんわたしました。しばらくして
王さまは、だいじんや やくにんにぬのを見にいかせると……。



出演者



あきやま りゅうじ

秋山 竜次さん (ロバート)

おわらいげい人として大にんきの秋山竜次(あきやまりゅうじ)さんが、「はだかの王さま」をかたりきかせてくれます。王さま、大じん、けらいからまちの人々まで、大ぜいの役(やく)をえんじわける秋山さんの“ひょうじょう”にちゅうもくして見てください！



番組イラスト／「読んでみよう！」イラスト制作



イラストレーター
くま あやこ

